

## 高校生ICT Conferenceについて 2019.12.23

### 主催

高校生ICTカンファレンス実行委員会

(構成団体)

- ・安心ネットづくり促進協議会
- ・大阪私学教育情報化研究会
- ・一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

### 共催

内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省

# 1-1.高校生ICT Conference概要

本事業は事業者団体・企業・有識者・関係府省庁が連携し、青少年のインターネット利用環境整備を目指した事業として2011年より毎年度、開催。

## 開催目的

### ①教育的側面

初対面の人と話し合うという経験を通じ、「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術習得

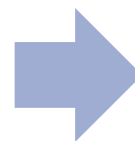
### ②社会的背景

インターネットやスマホ等を安心して安全に使うために自ら考え、実践することで、将来のよりよいインターネット利用環境の構築を目指す

# 1-2. 高校生ICT Conferenceが目指すもの

高校生ICT Conferenceは、次世代の社会を支える高校生が、自ら考え、他者の意見を聴き、議論し、意見をまとめ、発表することにより、将来のインターネット社会に臨む環境整備の一助になることを目指す。

- 啓発活動における課題
- セミナーやシンポジウム形式に対する理解度・興味の薄れ
  - 保護者層の参加率の低さ
  - 自己責任に対する意識の希薄



- ネットが分からず対応できない保護者
- 操作能力が高く、安易にネットを利用する高校生
- 知識・経験が不足してトラブルに巻き込まれる小・中学生

大人からのおしつけでなく当事者の高校生が考える

負のスパイラルから正のスパイラルへ

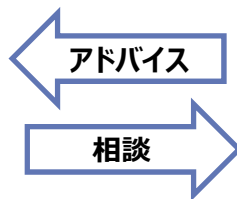
- 「高校生ICT Conference」が持つ3つの意味
- 当事者である高校生自身の気づき
  - 年少の子どもに行動できる高校生の育成
  - 次世代の保護者の育成



- リテラシーに加え、情報モラルを獲得した高校生
- 身の回りに小・中学生のよき相談相手
- リテラシーを持って子どものネット利用に目を配ることができる保護者



小・中学生



高校生



大人

# 1-3.高校生ICT Conference開催概要

2019年度テーマ

「人はなぜSNSを使うのか？ ～改めて考えるSNSの使い方～」

(参考)

- 2013年度 「考えてみよう！情報モラル・情報リテラシー教育の5W1H」
- 2014年度 「考えよう！これからのスマートなネットの使い方・あり方」
- 2015年度 「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！～ 高校生のボクたちだから ～」
- 2016年度 「ネットトラブル！どうする？【予防】と【対策】～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」
- 2017年度 「高校生が考える心豊かな生活～ICT×（家族・学校・地域）～」
- 2018年度 「社会で活躍するためのICT活用法～18才成人化を控えて～」

開催日程

## ・ 各地域開催（8月～10月）

各地でワークショップ（議論を重ねる熟議方式）形式の議論を実施し、地域代表1名を選出。

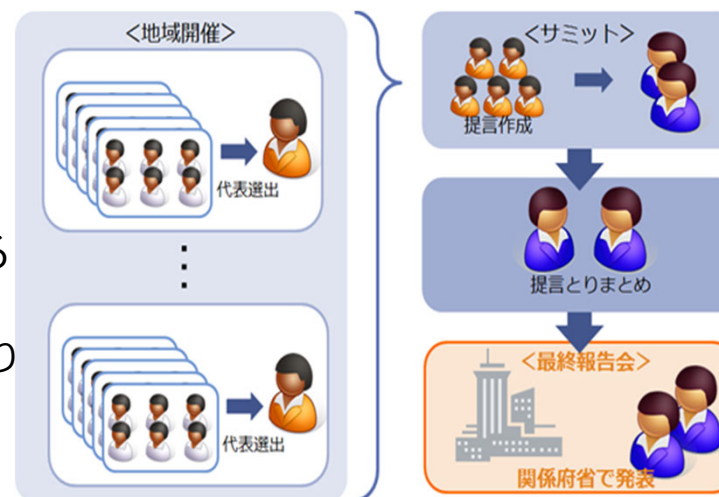
## ・ サミット(東京・11月3日)

各地での議論をもとに、高校生が政府への提言をまとめるための討議を実施し、最終報告をする代表者を選出。

※地域独自の高校生ワークショップイベントからの招待参加もあり

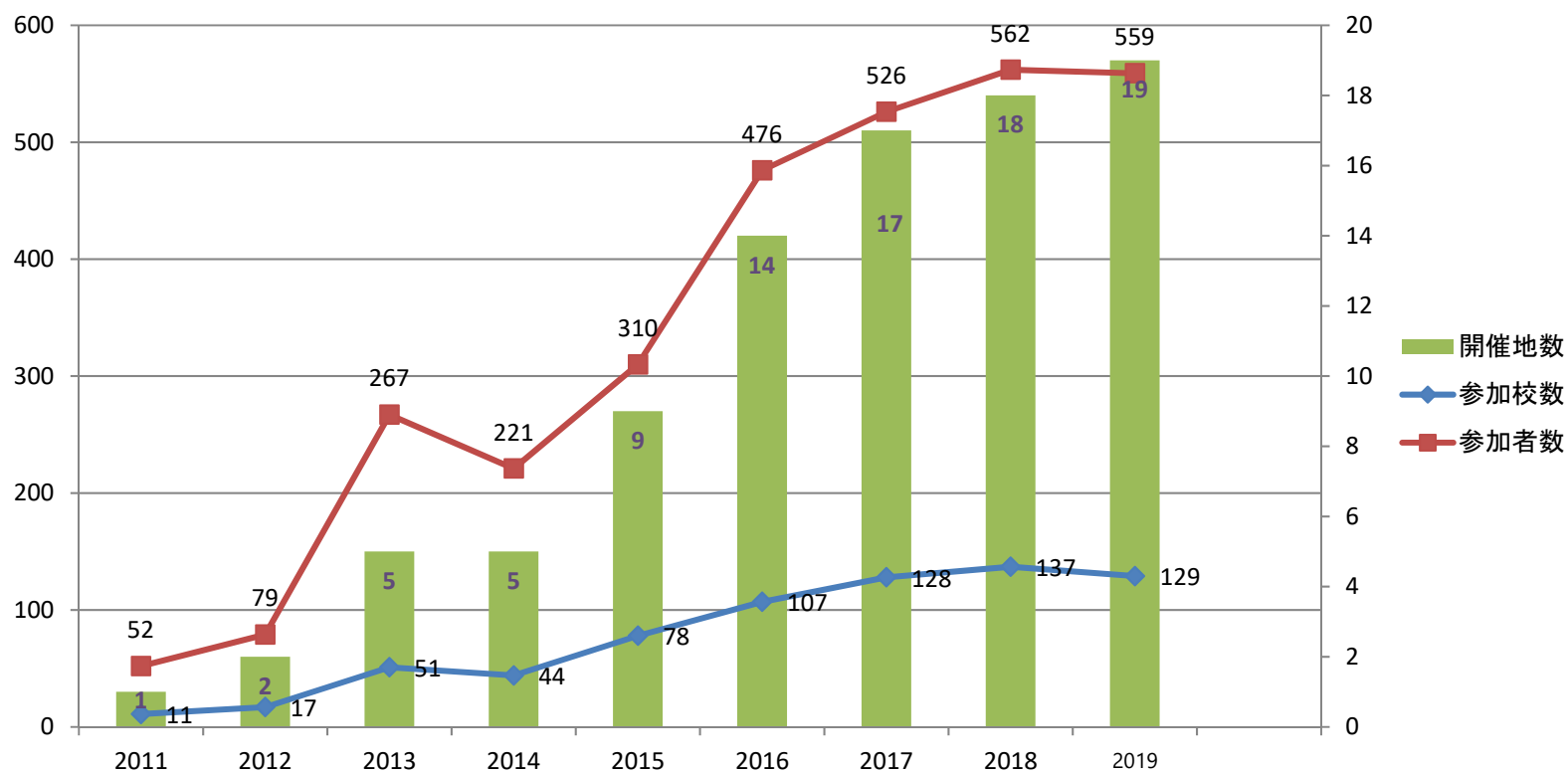
## ・ 最終報告会(東京・12月予定)

共催府省庁に高校生からの提言を公表、意見交換。



# 1-4. 高校生ICT Conferenceの歩み

高校生 ICT Conferenceは、事業者団体・企業・有識者・関係府省庁が連携し、青少年のインターネット利用環境整備を目指した事業として2011年度に「ICTプロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。全国的な規模での展開に向けて年々開催地区を拡大しています。



## 2-1. 2019年度テーマコンセプト

### 「人はなぜSNSを使うのか？ ～改めて考えるSNSの使い方～」

#### 【テーマ・コンセプト】

2011年に高校生ICTカンファレンスがスタートして9年目、第1回のテーマは「ネットとケータイの問題点」でした。9年の時を経て、高校生のネット接続ツールは、ケータイからスマホへ変わり、Facebook、LINE、twitterやInstagramと次々と新しいツールが登場しながらも、本質はSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）でのコミュニケーションです。

SNSを使った犯罪やネットいじめ、不適切動画の投稿による炎上など、様々な問題を抱えつつも、SNSはどうして高校生をはじめ、多くのインターネット利用者を惹きつけるのでしょうか？

SNSの魅力やその功罪について熱い議論を通じて、改めてSNSとの付き合い方や使い方について考えてみましょう。

## 2-2.2019年度開催実績

開催地	開催日時	会場	学校数	生徒数	参観数
札幌	2019年9月28日	内田洋行札幌ユビキタス協創広場U-cala	6	31	29
帯広	2019年9月23日	十勝プラザ	6	23	18
宮城	2019年9月28日	東北工業大学一番町ロビー	4	17	18
山形	2019年10月5日	米沢伝国の杜	6	17	17
茨城	2019年8月23日	茨城県教育研修センター	11	43	22
神奈川	2019年8月24日	岩崎学園	8	25	32
新潟	2019年8月20日	新潟コンピュータ専門学校	7	25	29
石川	2019年8月25日	金沢市リファーレ会議室	3	19	21
長野	2019年9月28日	安曇野市明科公民館	11	45	40
静岡	2019年9月29日	専門学校 静岡電子情報カレッジ 森下町キャンパス	3	22	16
愛知	2019年10月19日	名古屋女子大学	7	28	38
大阪	2019年9月1日	内田洋行大阪ユビキタス協創広場CANVAS	7	50	29
奈良	2019年9月29日	帝塚山大学奈良学園前キャンパス	6	29	23
高知	2019年9月7日	オーテピア	4	17	15
福岡	2019年9月21日	LINE Fukuoka	9	43	30
佐賀※	2019年10月13日	佐賀大学	5	27	20
長崎※	2019年8月8日	諫早文化会館中ホール	6	31	30
大分	2019年8月25日	ホルトホール大分	16	48	81
鹿児島	2019年8月17日	鹿児島大学	4	19	20
サミット	2019年11月3日(祝)	内田洋行東京ユビキタス協創広場CANVAS	20	20	82

# (参考) 各地域全体写真/代表校



札幌

北海道石狩翔陽高校



帯広

北海道帯広柏葉高等学校



宮城

仙台城南高等学校



山形

山形県立山形西高等学校



茨城

茨城県立石岡第二高等学校



神奈川

神奈川県立平塚中等教育学校



新潟

新潟県立巻高等学校



石川

小松大谷高等学校



# (参考) 各地域全体写真/代表校



長野

長野県松本県ヶ丘高等学校



静岡

日本大学三島高等学校



愛知

愛知県立東浦高等学校



大阪

羽衣学園高等学校



奈良

奈良県立香芝高等学校



高知

高知県立伊野商業高等学校



福岡

福岡県立博多青松高等学校



佐賀

佐賀清和高等学校

# (参考) 各地域全体写真/代表校



長崎

長崎県立諫早農業高等学校



大分

東九州龍谷高等学校



鹿児島

鹿児島純心女子高等学校



ふくい高校生スマートサミット

招待: 福井県立武生商業高等学校

# (参考) 各地域/メディア取り上げ

朝日新聞 令和元年10月22日(火)朝刊 20面

※令和元年7月23日(火) 当局からのお知らせ関連記事



高校生が議論を交わした「高校生ICTカンファレンス」札幌会場＝9月28日、札幌市中央区

「やっぱり規制が必要なんじゃないかな」「いや、最後は自己責任だと思っ」  
 高校生が情報通信技術(ICT)に関する問題について話し合い、その場で提言にまとめる技術を競い合う「高校生ICTカンファレンス」。全国大会に向け、先月28日に札幌市中央区で開かれた「札幌会場」には、札幌市やその近郊から6校計31人の高校生が集まった。  
 話し合いは6班に分かれて行われるが、同じ学校の生徒たちは各班にバラバラに配置されるため、テーブルを囲むメンバーはほとんどが初対面。最初は戸惑いも見せていた生徒たちだったが、次第に打ち解け合い、最後は熱い議論が交わされた。  
 今年のテーマは「人はなぜSNS

## 高校生ICTカンファレンス

### 班ごと提言にまとめ プレゼン



当日発表したSNSに関するプレゼンを解説する櫻井天翔さん(札幌市の石狩翔陽高校)

NSを使うのか? 改めて考えるSNSの使い方。時間の議論と1時間の準備時間で提言にまとめ、各班がプレゼンテーションする。最も支持を集めた班のメンバーの中からさらに選ばれた1人だけが、来月3日に東京で行われる全国大会に出場することができる。その選考は、参加した高校生たちが自ら行うのがこのイベントの特徴だ。  
 今年、札幌会場から全国大会への出場者に選ばれたのは、石狩翔陽高校2年生の櫻井天翔さん(16)。櫻井さんたちのC班は、いじめや個人情報流出、犯罪に巻き込まれるといったSNSの問題点を、利用者の「無



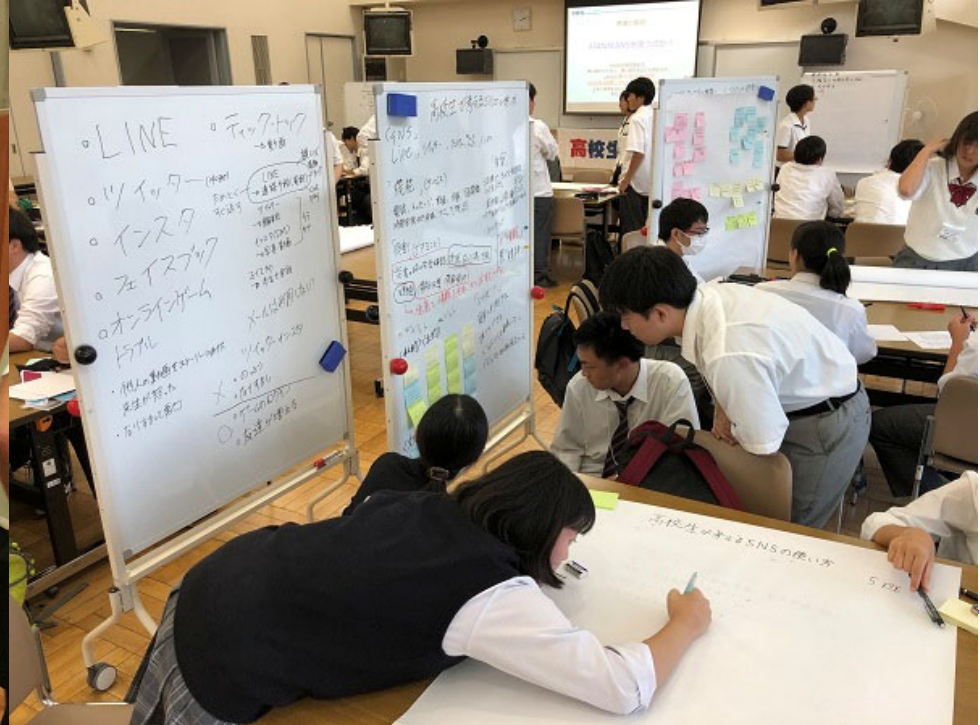
## SNS利用 熱く議論

## マスコミ取上

- ・ 十勝毎日新聞 9月26日
- ・ 北陸新聞 8月27日
- ・ 富山新聞 8月27日
- ・ 長崎新聞 8月22日
- ・ 静岡新聞 9月30日

知」に原因があると分析。対策として「機能強化した新しいSNSの開発」と「小中学生に対する教育の充実」を提言した。櫻井さんは、その中で主に教育に関する提言をリードし、まとめた役割が評価された。  
 今年で9回目の開催となるイベントには常連校もある一方、石狩翔陽高校は久々の参加となった。生徒会長を務める櫻井さんは、生徒会顧問の安斎龍一教諭(29)から参加の打診があったときは「聞ける人もいなくて、正直、どうしようものなのか想像もつかなかったです」という。ただ、議論には自信があった。原点は小学生の時。かつてなうてケンカをしてしまったことで、クラス全体の雰囲気を悪くしてしまった経験から、常に冷静沉着でいようと心掛けるようになった。自他共に認めるそんな性格は、生徒会長として議論をリードし、正反対の意見をまとめるときにも役立つ。前年、櫻井さんが相手なら緊張しない」というも、「みんなの意見を聞いてまとめる役割は十分に果たせたと思います」。安斎教諭も「今回の経験で学んだ対応力を、生徒会活動などでいかしてほしい」と期待する。  
 北海道からは、札幌会場と帯広会場から2人が出場する全国大会。そこでさらに代表者に選ばれると、内閣府や総務省を訪問し、提言を発表する機会が与えられる。また北海道から代表者に選ばれた例はなく、初の遠出に期待が寄せられている。  
 (田)編 (1)

# (参考) 実施会場風景

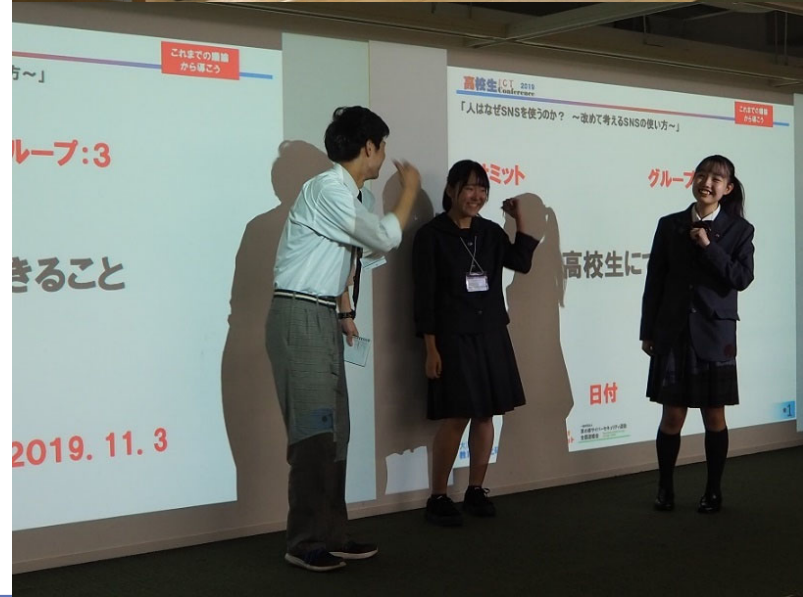


## 2-3. 高校生ICT Conference:東京サミット

開催日時	2019年11月 3日（祝） 13:00-17:00		
場所	株式会社内田洋行 東京ユビキタス協創広場 CANVAS		
テーマ	人はなぜSNSを使うのか？ ～改めて考えるSNSの使い方～		
参加人数	熟議参加生徒	20人	
	見学者	82人（教員・教育関係者・その他）	合計 102人
参加校 (順不同)	札幌	北海道石狩翔陽高校	
	帯広	北海道帯広柏葉高等学校	
	宮城	仙台城南高等学校	
	山形	山形県立山形西高等学校	
	茨城	茨城県立石岡第二高等学校	
	神奈川	神奈川県立平塚中等教育学校	
	新潟	新潟県立巻高等学校	
	石川	小松大谷高等学校	
	長野	長野県松本県ヶ丘高等学校	
	静岡	日本大学三島高等学校	
	愛知	愛知県立東浦高等学校	
	大阪	羽衣学園高等学校	
	奈良	奈良県立香芝高等学校	
	高知	高知県立伊野商業高等学校	
	福岡	福岡県立博多青松高等学校	
	佐賀	佐賀清和高等学校	
	長崎	長崎県立諫早農業高等学校	
	大分	東九州龍谷高等学校	
	鹿児島	鹿児島純心女子高等学校	
	福井	福井県立武生商業高等学校	



# (参考) 高校生ICT Conference:東京サミット 風景



## (参考) 最終報告会

サミット参加の高校生から代表者名が、内閣府、総務省、文部科学省において高校生ICT Conferenceで得られた成果を提言として発表しました。

開催日時	2019年12月5日(木) 10:00-18:00
テーマ	人はなぜSNSを使うのか? ~改めて考えるSNSの使い方~
報告者	【大阪府】羽衣学園高等学校 2年 女子 【佐賀県】佐賀清和高等学校 3年 男子
参加人数	参加生徒: 2人 引率者: 2人、随行者: 6人 府省庁参加計: 多数
タイムテーブル	10:00-11:00 文部科学省にて高校生プレゼン、意見交換 14:00-16:00 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」にて高校生 プレゼン、委員・関係省庁との意見交換 16:50-17:50 総務省にて高校生プレゼン、意見交換
高校生の提言	全国での熟議を経てサミットで得た提言を高校生が直接プレゼンしました。

# (参考) 最終報告会 風景





## (参考) 参加実績

- ①当事者である高校生自身の気づき、
  - ②年少の子どもに行動できる高校生の育成、
  - ③次世代の保護者の育成を目的し、
- 日本中で、高校生が自ら考える環境づくりを目指す。



※福井招待参加除く